

## 一般質問

議員6人

## 町政を問う

6月定例会の一般質問は  
5日および6日に行われました。  
紙面の都合により要約してお伝えします。  
なお、詳しい内容は吉岡町図書館に  
備えてある会議録で確認できます。  
また、平成21年第1回定例会以降の会議録は、  
吉岡町ホームページでもご覧になれます。

一般質問は、執行機関が提出した  
議案と関係なく、町の行政全般にわたって、  
議員個人が執行機関に質問し、  
見解を求めるものです。  
吉岡町では、質問および答弁をあわせて、  
1人60分以内の持ち時間があります。

## ■富岡 大志議員（8ページ）

1. 保健センターによる子育て支援に関して
2. 登下校の安全対策に関して
3. 役場のセキュリティ対策に関して

## ■大林 裕子議員（9ページ）

1. 子どもたちをめぐる諸問題について
2. 観光資源・文化財の整備について

## ■村越 哲夫議員（10ページ）

1. 自治体クラウドについて
2. 小、中学校の諸問題について
3. 独身男女の出会いの場づくりについて
4. 生活困窮世帯の自立支援制度について
5. 都市計画道路の早期整備について
6. 自治会役員及び防災について

## ■竹内 憲明議員（11ページ）

1. 船尾自然公園の現状と環境整備の見直しを
2. 高齢運転者の事故率減少策は
3. 高齢者の免許証自主返納の進捗状況は
4. 駒寄住民センターと学童クラブの出入口の  
安全対策について

## ■小池 春雄議員（12ページ）

1. 鉄鋼スラグ問題
2. 高齢者福祉充実

## ■五十嵐 善一議員（13ページ）

1. 安全・安心なまち吉岡の実現に向けて
2. 町民と行政が協働するまち吉岡の実現に向  
けて
3. 支え合う福祉のまち吉岡の実現に向けて

## インターネット配信中です

本会議の様子を生中継、録画でも配信。アクセス方法は

吉岡町議会

検索





とみおか たいし  
**富岡大志** 議員

# 保健センター 保健師10人は 必要

## 答 増員を視野に 考えている

**問** 保健センターの保健師は現在6人で、以前の一般質問の答弁から1人増員された。しかしまちの規模から10人は必要だと思っが。

**答** 健康福祉課長 吉岡町は若い子育て世帯の増加が顕著。国の少子化対策などもあ

り、健診業務や子育て支援施策に充分なスタッフが確保できていない。特に乳児検診の1層の充実のため専門スタッフも必要で、保健師を増員していくことを視野に考えている。

**問** 「子育て世代包括支援センター」は

**問** 吉岡バイパスに、劣化して見えにくい横断歩道が複数。合同点検での状況確認から半年経過だが、現在の対応状況は。

**答** 産業建設課長 上申中で、警察側の本年度工事リストに計上。まちとしても、交通状況の変化に対応すべく、早期対応を要請。

**問** 抜け道として交通量の多いところで、

人身事故が複数発生。重点的な対策を。

**答** 町民生活課長 より一層の安全対策に取り組む。自動車の速度抑制対策として、速度30キロの路面表示を警察に申請している。

**問** 公用車に視認性の高いラッピングとドライブレコーダー設置で、不審者対策で強力な効果が期待できる。再度検討を。

## 吉岡バイパス横断歩道薄れている

### 答 早期対応を要請

厚労省通知では平成32年度末の設置が目標で、同センターに「保健師等を1名以上配置すること」とあるが、専属職員の配置に対する考えは。

**答** 健康福祉課長 専門職確保の必要性、必須業務の支援プラン

作成などの業務量も考慮し、慎重に検討。

**問** その専門的な人材の確保を、早い段階からしてくべきでは。

**答** 健康福祉課長 指摘のとおりだが、採用計画との兼ね合いもあり、関係課と調整する。

**答** 財務課長 ドライブレコーダーは順次設置中。ラッピングは費用対効果を踏まえ、マグネット式シートの活用など具体的な方策を検討。

**問** 暴力をちらつかせた不当な要求、脅迫・威圧などの「行政対象暴力」に対する講習・訓練やマニュアル整備の状況は。

**答** 総務政策課長 講習・訓練は定期的な実施がなく、警察と協議での実施や県の研修の参加呼びかけを検討。対応マニュアルは県作成のものがあり、改めて周知。



複数回事故が発生。重点的な安全対策を  
(老人福祉センター付近)



おおばやし ゆうこ 議員 大林 裕子

# 子どもたちの遊び場の整備を

## 答 要望をふまえ 検討

**問** 子どもたちが遊べる遊具がほしいというパパ・ママたちの願いがある。役場周辺のふれあい公園や、吉岡温泉芝生公園に、遊び場の整備を。

**答** 産業建設課長 子育て環境の充実は重要。役場周辺の公園再整備の必要がある。要望をふまえ検討したい。防災公園にも複数の遊具設置を予定。

**問** 県1位の出生率の吉岡町。本町に住してもらうためにも子育て支援が大切。子育て世代包括支援センターへの考えと現状は。

**答** 町長 いち早く設置しなければと思う。健康福祉課長 複数の施設や場所に支援機能を持たせ、情報共有しながら、一部は外部委託も視野に入れて検討している。

**問** 地域子育て支援センターのほかに、保健センターも工夫して、日常的な遊び場開放や相談ができないか。

### ※1 ロタウイルス予防接種に助成を

### 答 他事業との兼ね合いで考える

**問** 乳幼児が感染するロタウイルス胃腸炎と、おたふくかぜの予防接種の助成を望む。他市町村の状況は。

**答** 健康福祉課長 予算がともなう。他事業との兼ね合いの中で考える。ロタは14、おたふくは15市町村で助成。

**問** 学校生活全体で男女等の意識を培うため、男女混合名簿

**答** 健康福祉課長 保健センターも工夫して、日常的な遊び場開放や相談ができないか。

**問** 健康福祉課長 保健センターは、事業のない日は少ないのが現状。地域福祉交流施設の開放も考えられる。

**答** の使用は必要では。

**問** 教育委員会事務局 混合名簿が学校現場にどんな影響があるか検討中。

**答** 船尾滝の復旧工事をやっているが、整備計画が必要と思うが、産業建設課長 現状復旧を第一に進める。

**問** 伊香保街道の農業や景観を生かし、県の農泊募集に参加を。

**答** 伊香保街道の農業や景観を生かし、県の農泊募集に参加を。



予防接種助成の拡大を「痛いけどがんばってね」

### ミニ解説

- ※1 ロタウイルス胃腸炎 5歳までの乳幼児がほぼ感染するとされ、重症化することも多い。ワクチンは高額であり、他町村の中には1万5千円の助成をしているところもある。
- ※2 農泊 伝統的な生活体験を通し、農村地域の人々と交流を楽しむ。
- ※3 保存管理計画 文化財保存のための日常の維持管理計画。

**問** 産業建設課長 周辺市町村を参考に「南下古墳群」の保存管理を。検討。

**答** 教育委員会事務局 長 有識者と劣化を防ぐ方策を検討したい。



むらこし てつお  
村越 哲夫 議員

# ※自治体クラウドの導入は

## 答 具体的な手法の検討などを予定

**問** まちでは自治体クラウドの導入は。  
**答** 総務政策課長 「電算システムの共同処理の検討部会」に参加し、共同処理の実現を目的に具体的な手法の検討などを行っている

**問** 県内の自治体クラウドの導入は少ないと聞くが。  
**答** 町長 県内の導入状況は予定を含め4割。

**問** 小学生の自転車事故対策は。  
**答** 教育委員会事務局 長 中学生の自転車による交通事故を防ぐために警察や交通安全会と連携。中学校安全教室や安全運転に心

**問** 生活困窮者自立支援制度の中の学習支援事業の現状は。  
**答** 町長 中学生を対象に進学支援で学習面でも支援し、子どもが安心して通える居場所の提供を行っている。

**問** 半田南線の都市計画道路、大久保上野田線の県道昇格などの進展は。  
**答** 産業建設課長 渋川市内の半田南線、吉岡都市計画道路「大久保上野田線」の県道昇格は、平成39年度までに着手予定の事業に位置付けされた。漆原南線の延伸や川久保踏切

**問** 自治体役員の選考選出過程の考えは。  
**答** 町民生活課長 役員の選出などについては自治体連合会で協議していただき、まちとしては自治体連合会を通じて協力したい。



拡幅が待たれる大久保上野田線

**ミニ解説**  
※自治体クラウド  
自庁舎での情報システムの管理・運用に代えて、外部のデータセンターを利用するもの。

## 大久保上野田線の県道昇格の進展は

### 答 平成39年度までに予定

**問** 半田南線の都市計画道路、大久保上野田線の県道昇格などの進展は。  
**答** 産業建設課長 渋川市内の半田南線、吉岡都市計画道路「大久保上野田線」の県道昇格は、平成39年度までに着手予定の事業に位置付けされた。漆原南線の延伸や川久保踏切

**問** 自治体役員の選考選出過程の考えは。  
**答** 町民生活課長 役員の選出などについては自治体連合会で協議していただき、まちとしては自治体連合会を通じて協力したい。

**問** 生活困窮者自立支援制度の中の学習支援事業の現状は。  
**答** 町長 中学生を対象に進学支援で学習面でも支援し、子どもが安心して通える居場所の提供を行っている。

**問** 小学生の自転車事故対策は。  
**答** 教育委員会事務局 長 中学生の自転車による交通事故を防ぐために警察や交通安全会と連携。中学校安全教室や安全運転に心

**問** 小学校の卒業式の華美な服装への対応は。  
**答** 教育委員会事務局 長 学校では、卒業式の華美な服装を控えていただくよう、PTA本部役員や保護者に対して、呼びかけている。

**問** 中学校の制服については価格が高い、購入の選択肢が少ないなどの意見があるが。  
**答** 教育委員会事務局 長 制服は、中学生が公式な場所に着ていっても恥ずかしくない服装と言える。3年間使用できるので過度な経済的負担にはつながらないと考える。

**問** 産業界を介して結婚相談事業を行っている、当時は、対象者として、農業従事者が中心で、相談者は集まらず、事業をやめたが、今後は周辺の状況を見極めながら事業を検討したい。

**問** 産業界を介して結婚相談事業を行っている、当時は、対象者として、農業従事者が中心で、相談者は集まらず、事業をやめたが、今後は周辺の状況を見極めながら事業を検討したい。

**問** 産業界を介して結婚相談事業を行っている、当時は、対象者として、農業従事者が中心で、相談者は集まらず、事業をやめたが、今後は周辺の状況を見極めながら事業を検討したい。

**問** 産業界を介して結婚相談事業を行っている、当時は、対象者として、農業従事者が中心で、相談者は集まらず、事業をやめたが、今後は周辺の状況を見極めながら事業を検討したい。

**問** 産業界を介して結婚相談事業を行っている、当時は、対象者として、農業従事者が中心で、相談者は集まらず、事業をやめたが、今後は周辺の状況を見極めながら事業を検討したい。

**問** 産業界を介して結婚相談事業を行っている、当時は、対象者として、農業従事者が中心で、相談者は集まらず、事業をやめたが、今後は周辺の状況を見極めながら事業を検討したい。



たけうち のりあき  
竹内 憲明 議員

# 船尾自然公園の 水車小屋の 修復を

## 【答】 冬季間は閉鎖 のため総合的 に検討

**問** 水車は老朽化で、現在は原形をとどめていない。対策を。

**答** 町長 バーベキユ  
― 広場を開放する

時期が4月から11月までで、冬の寒い期間は閉鎖のため、その間の安全管理や、メンテナンスなどの問題もあるため今後総合的に検討。

**問** 駐車場の見直しと、駐車台数の増設を。

**答** 産業建設課長 観光客の増加が、今後期待されるので総合的に検討。

**問** 公園管理棟の室内北側にバーベキユ― 広場を監視できる窓

の増設を。

**答** 町長 シルバー人材センターから意見を聞き、必要な対応を検討。

**問** 公園内の樹木が大きくなり、混み合っているが、定期的な剪定計画は。

**答** 産業建設課長 除草作業については、年3回行っているが、

作業車両が奥に入れない状況にある。今後については桜の木の病気もあり、ある程度の枝の剪定について検討。

**問** 和式トイレを洋式に変更を。

**答** 産業建設課長 変更にについてはスペースなどの問題もあるが、多目的トイレの整備も含め、今後の状況を見ながら検討。



早急な対策が待たれる水車

## 高齢運転者の事故率減少策は

**答** 関係機関と協力し、啓発活動に努める

**問** 高齢運転者の事故率減少策は。

**答** 町長 警察や交通安全会など関係機関と協力し、講演会や啓発活動に努める。

**問** 先進安全自動車の購入費の補助事業の導入を。

**答** 町長 現時点では県や近隣市町村の動向を把握しながら足並みをそろえ、期間や補助額などの条件についても判断をしていく。

**問** 高齢者の免許証の自主返納件数は。

**答** 町長 現在までに118件の返納となっている。

**問** バスカードとタクシー券の、申請状況は。

**答** 町民生活課長 バスカードの申請は、

平成23年度から実施し、現在までに98件、タクシー券は平成29年度からの実施で、現在で17件。

**問** 駒寄住民センターと駒寄学童クラブ前の道路上に※ハンブの設置工事を。

**答** 産業建設課長 ハンブの設置については、道路状況や地域住民の理解などを考慮して、警察や関係機関と協議検討する。

**ミニ解説**  
※ハンブ  
通行する自動車の速度を抑制するために、道路上に設けられたかまぼこ状のもの。



こいけ はるお  
小池 春雄 議員

## スラグ問題に対する今後の対応は

### 答 納得のいく回答を得るため協議

**問** 大同特殊鋼渋川工場から排出された、鉄鋼スラグを含む再生砕石を使用したまち発注17工事に対し、当社は「吉岡町及び群馬県と協議の上、誠意を持って対応する」との見解である。

そして議会としても

現地調査を行い確認してきた。その後2年経過したが、現状は。また今後の対応は。

**答** 町長 国土交通省・群馬県・渋川市で組織する鉄鋼スラグに関する連絡協議会の「鉄鋼スラグを含む材料の対応方針」にある3つ

の基本方針をもとに、協議を進めてきた。町民の不安解消が重要であると認識し、今後も納得のいく回答を得るため、大同特殊鋼に対し、生産者としての責任を求めていく。教育委員会事務局長 南下古墳公園の駐車場はスラグ・土壌の汚染が確認されたことから、砕石仕上げとなっていた駐車場の舗装被覆工事を実施。あくまでも保全措置であり、引き続き協議、環境への影響など監視を継続。

産業建設課長 7カ所のうち2カ所で土壌汚染が確認され、県で地下水の調査を実施。結果、地下水への影響は不確認。舗装されているため、工事などで再度掘り返す場合、処分費用を負担との回答を得る。具体的には、今後とも協議を続ける。

上下水道課長 路盤材などでスラグ砕石が使用された場所は9カ所である。環境基準値を超えた1カ所は、掘り起こすなどの必要が生じた時点で、処分費など費用負担をするとの合意を得ている。

土壌のみで環境基準値を超えるフッ素化合物が検出された場所では、鉄鋼スラグ製品と土壌汚染との因果関係など、再度問題解決に向け協議したい。

**問** 榛東村メガソーラー、まち水源に対する対策は。

**答** 上下水道課長 上野原浄水場の水源である阿久沢・障子岩で年4回水質検査を実施。基準値を超過する物質を含んでいないことを確認。健康への影響はない。

**問** 以前から福祉タクシー制度はあったが、本年度から相乗りタクシー制度が発足した。多くの人が利用しやすくするために、需要に応じた改善が必要だと思うが。

**答** 相乗りタクシー需要に応じた改善を  
周知をはかり利用促進に

**問** 以前から福祉タクシー制度はあったが、本年度から相乗りタクシー制度が発足した。多くの人が利用しやすくするために、需要に応じた改善が必要だと思うが。

**答** 町長 事業の趣旨を多くの人に理解いただき、出歩くことが困難な人の移動の機会を支えていきたい。



土壌汚染が認められたが、地下水への影響はなかった宮田大藪線



いがらしよしかず 五十嵐善一 議員

# 「災害時受援計画」策定の現状は

## 答 地域防災計画の見直しの中で検討

**問** 「災害時受援計画」策定の現状は。

**答** 町長 今後、地域防災計画を見直す中で、受援計画を盛り込む考え。

**問** 災害時「応援職員確保システム」の運用実態と対応状況は。

**答** 町民生活課長 本システムは、被災都道府県が窓口の「災害対応業務の支援」と、<sup>※1</sup>対口支援に際し、総括支援員を派遣する「災害マネジメント支援」からなる。まちは県の派遣要請にもとづき、協力していく。

**問** 災害時応援活動に関する協定の締結

**答** 産業建設課長 涉川土木事務所の予算要求では、不承認。予算要求を継続実施。まちも要望を継続。

**問** 学校における防災対策の現状は。

**答** 教育委員会事務局 校長 学校保健安全法に従い実施。学習指導要領などに沿って、発達段階に応じた防災

状況は。

**答** 町民生活課長 株式会社カインズ、JA北群渋川、コメリ災害センサーなど、21団体と協定を締結済み。

**問** 大規模災害限定の消防団員制導入の考えは。

**答** 町民生活課長 本制度に関する情報収集や、近隣市町村の動向などを見ながら、検討。

**問** 中小河川（特に、漆原地内の吉岡川）の河道掘削への取り組み状況は。

**答** 町長 「花と緑のオープンガーデン事業への取り組み」の事業効果を継続して

教育も実施。本年度、県の「実践的安全教育総合支援」のモデル地域の指定を受けている。

**問** 避難所運営ガイドの作成を。

**答** 町民生活課長 避難所設定の見直し

なども含め、今後検討。事前復興計画への取り組みは。

**答** 産業建設課長 周辺市町村の取り組み状況などを踏まえ、

検討。

## 答 住民と協調をはかりながら検討

**問** オープンガーデン事業への取り組み

**答** 町長 「花と緑のオープンガーデン事業への取り組み」の事業効果を継続して

## ※2 オープンガーデン事業への取り組みを



「花と緑のぐんまづくり」を受け、今後も期待される伊香保街道沿いの花いっぱい運動

くため、住民との協調をはかりながら、検討。

**問** 元気になるカフェ「よしおかロバ」の活用状況は。

**答** 町長 昨年12月7日から本年3月末日まで、実施回数15回、延べ利用者597人、延べボランティア88人。

**問** 交流拠点としての、さらなる活用策の検討を。

**答** 健康福祉課長 子ども食堂の開催を夏休み中に計画。学習支援の場として、夏休みの昼間の利用を検討中。

### 三三三解説

※1 対口支援 中国語でベアを組ませるという意味。被災自治体と支援自治体をベアにして復興に取り組み支援策。

※2 オープンガーデン 個人の庭を一定期間、一般の人に公開し、庭づくりなどを通して住民の交流を深めてもらう、英国発祥の活動。